

令和5年度 上田高等学校定時制課程 学校自己評価(最終評価)

I 学校評価(自己評価表) III・IVを参考に評価する

教育目標《定時制の目指す学校像》	中・長期的目標	総合評価
1 様々な学習歴や生活歴をもつ生徒が、安全・安心な環境の中で、一人ひとりに潜在する能力や適性を十分に発揮できるようにする。	(1) 教育目標達成に向け、客観的な学校評価を可能にするため、学校関係者の評価を受け、それに基づく具体的改善策を検討実施する。	学校関係者や外部団体との積極的な連携を図ってはいるが、定時制独自で評価をいただくまでには至っていない。次年度の課題としていきたい。
	(2) わかる授業の展開と、それに伴う授業評価の方法を構築する。	年2回の授業アンケートを実施。時期を検討しながら効果的に活用できるようさらに努力する。
	(3) 学校・家庭・地域が一体となって生徒を育てていくという連帯意識・協力関係の醸成を図り、本校定時制の質的改善を目指す。	保育園との交流授業をスタートさせた。地域に出て活動することを少しずつ増やしながら協力関係の構築を図る。今後この活動をどのように継続していくかが今後の課題となってくる。
	(4) 自学自習の実践。自分で考え、自分でおこなう力の育成を行う。	なかなか難しい課題である。地道な声かけと授業改善を引き続き行っていく。
2 生徒一人ひとりが学校生活をおとして、自己の目標を見つけ、自信を持って自立することができる教育を目指す。	本年度の重点目標	成果と課題(最終評価)
	① 丁寧な指導により、生徒の学習意欲を高める。	数学で学習指導員を配置するがまだ足りない。個々で声をかけられるよう引き続き努力する。
	② 生徒に寄り添いながら、自立を支援する。	生徒との話をする機会を多くすることで改善を図っている。引き続き努力する。
	③ 早期からの進路指導を充実させ、多様な進路希望実現を図る。	進路実現に向けて意識を持たせるため、様々なジャンルの専門家に来校していただいた。
	④ 衛生的・健康的で、きれいな学校をつくる。	保健室を中心に掃除・消毒を行っている。取り組む姿勢に少しずつ変化が見られた。
	⑤ 生徒にとって居場所のある楽しい学校をつくる。	SAMUカフェの実施。食堂の有効利用を検討。
	⑥ いじめ・暴力・体罰のない安全・安心な学校をつくる。	生徒との面談を数回行い、様子の変化に気づく態勢づくり。
	⑦ 家庭との連絡を密にとり、生徒を共に育てていく。	年に2回の懇談週間を設けているが、日程等の柔軟な対応を次年度以降検討する必要がある。

II 学校評価(学校関係者評価)

- ・定時制の生徒も校外に出て活動すること、地域の人たちと交流することは必要なことで、その点において保育園との交流授業は、良い活動である。是非今後も継続していくことを期待している。
- ・保育園児に限らず異年齢の人たちとの交流活動は、どこの活動でもよい話を聞けることが多い。定時制で実践しているところが少ないので頑張ってもらいたい。
- ・就職で内定をもらった生徒が働き始めてすぐに辞めてしまう話をよく聞く。そうならないような指導もできるとよい。大学の進学を希望する生徒もいて、指導の充実に期待したい。

Ⅲ学校評価（職員アンケート）

【評価】 A:十分達成 B:ほぼ達成 C:やや不十分 D:不十分							
重点目標	重点目標	評価項目	評価の観点	A	B	C	D
①	丁寧な指導により、生徒の学習意欲と学力を高める	個別指導の充実	1 生徒一人ひとりの学習課題を把握できたか	29	57	14	0
			2 学習課題に応じた指導ができたか	43	57	0	0
		苦手教科のある生徒への指導	3 補充指導を十分に行うことができたか	14	43	43	0
			4 提出物の指導ができたか	29	57	14	0
		指導方法の改善	5 学習状況についての情報共有ができたか	29	57	14	0
			6 教材の工夫ができたか	43	57	0	0
			7 授業評価を授業改善に活かすことができたか	57	43	0	0
		特設授業の充実	8 生徒の学習意欲や学力向上の期待に応える授業の工夫ができたか	29	57	14	0
			個に応じた指導の充実	9 夏期補習を実施できたか	29	29	29
		10 進学補習と基礎力補充ができたか		29	57	14	0
		11 就業支援に応える補習ができたか		29	43	14	14
②	生徒に寄り添いながら自立を支援する	生徒が抱える悩みの把握	12 早い段階で生徒の悩みを把握し、対応ができたか	29	43	29	0
			生徒支援チームの活動	13 生徒支援チームを立ち上げ機能させることができたか	29	57	14
		14 生徒支援に関する情報の共有ができたか		29	57	14	0
		開かれた学校づくり	15 外部機関との連携を十分に行えたか	43	57	0	0
			16 地域に開かれた学校づくりができたか	57	29	14	0
		在校生の就業支援(アルバイト)	17 外部との連携ができたか	57	43	0	0
			18 生徒の希望に応える支援ができたか	29	57	14	0
		キャリア教育の充実	19 インターンシップを実施できたか	29	57	0	14
20 就業体験活動を実施できたか	29		57	0	14		
③	早期からの進路指導を充実させ、多様な進路希望実現を図る	進路目標の早期確立	21 進路講話やガイダンスにより生徒の意識を高めることができたか	57	29	14	0
			22 個別面談を実施し生徒の目標を明らかにできたか	29	57	14	0
		三修制生徒の進路指導	23 希望する進路の実現を支援できたか	29	57	14	0
			就職希望者に対する進路指導	24 外部機関との連携ができたか	71	29	0
		25 希望する就職の実現を支援できたか		29	57	14	0
④	衛生的・健康的で、きれいな学校をつくる	全校清掃の計画と実施	26 定期的な全校清掃が実施できたか	43	43	14	0
			27 登校時指導が実施できたか	29	14	57	0
		健康や環境に対する意識の向上	28 総合的な学習での取り組みができたか	14	43	43	0
			29 消毒・手洗い等の励行や健康観察ができたか	43	57	0	0
⑤	生徒にとって居場所のある楽しい学校をつくる	LHR時間の充実	30 LHR時間を十分に確保しクラスの活動ができたか	14	43	43	0
			31 内容の充実をはかることができたか	29	43	29	0
		生徒主体による行事の実現	32 生徒会による行事の運営ができたか	43	57	0	0
			33 仲間づくりにつながる行事の実施ができたか	29	57	14	0
⑥	いじめ・暴力・体罰のない安全・安心な学校をつくる	いじめ・暴力・体罰のない安全、安心な学校、居場所づくり	34 生徒の意識を高める指導が実施できたか	43	57	0	0
			35 発生した事案に対し適切に対処できたか	43	43	14	0
⑦	家庭との連絡を密に取り、生徒を共に育ていく	家庭との連絡	36 必要な情報を家庭に発信できたか	29	43	29	0
			37 生徒の変化・異常を見逃さずに家庭に連絡できたか	29	43	29	0

評価の観点の網掛け: 評価A・Bを合わせた結果が80%を下回った項目